

**令和6年第3回 岩沼市議会定例会
一般質問通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	15	長 田 忠 広	<p>医療的ケア児支援について</p> <p>医療的ケア児とは、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童のことをいう。全国の医療的ケア児（在宅）は、推計約2万人である。</p> <p>令和3年9月に医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が施行され、自治体による支援が責務となった。</p> <p>令和4年12月定例会、令和6年2月定例会で医療的ケア児者支援について質問した。そこで、本市における医療的ケア児支援の現況について伺う。</p> <p>1. 相談体制の強化について</p> <p>(1) 基幹相談支援センター設置について</p> <p>① 第3期障害児福祉計画では、「令和8年度末までに設置」となっているが、現況を伺う。</p> <p>② センター設置までの間、基幹相談支援センターの役割を担う体制を伺う。</p> <p>(2) 児童発達支援センター設置について</p> <p>① 第3期障害児福祉計画では、「児童発達支援センター機能の設置に向けた検討を継続します。」とあるが、広域での設置も含め検討していく必要があると思うが、見解を伺う。</p> <p>(3) コーディネーターの配置について</p> <p>① 第3期障害児福祉計画では、令和4年度までの実績が0人となっている。配置目標は「近隣市町での設置も視野に1人配置」となっているが、コーディネーターの配置の状況を伺う。</p> <p>2. 宮城県医療的ケア児等相談支援センターとの連携について</p> <p>(1) 令和4年度に実施された宮城県医療的ケア児実態調査について</p> <p>① 調査内容を伺う。</p> <p>② 令和5年5月に、実態調査の結果をもとに宮城県医療的ケア児等相談支援センターとのヒアリングがあったが、内容及び課題となった事項について伺う。</p> <p>3. 医療的ケア児の保育所入所の体制づくりについて</p> <p>(1) ガイドラインについて、令和6年2月定例会で</p>	市 長 教育長

<p>(同)</p>	<p>15</p>	<p>長 田 忠 広</p>	<p>「研究を進めながら体制づくりというのを考えていきたい。」との答弁であったが、現状と見通しを伺う。</p> <p>(2) 保育士への研修について、令和6年2月定例会で「対応する職員にもかなり不安があると、もし進めるにしても不安は大きいものと思いますので、そのような体制については考えていきたい。」と答弁であったが、現状と見通しを伺う。</p> <p>4. 医療的ケア児の就学の体制づくりについて</p> <p>(1) ガイドラインについて、令和6年2月定例会で「担当各課と調整含めながら検討してまいりたい。」との答弁であったが、現状と見通しを伺う。</p> <p>(2) 保育士の研修と共に教職員への研修が必要と思うが、見解を伺う。</p>	<p>市 長 教育長</p>
			<p>教育行政について</p> <p>1. 学力向上の取組について</p> <p>(1) これまでの取組と成果を伺う。</p> <p>(2) 今後、どのように取り組んでいくか伺う。</p> <p>(3) 人口増の施策として「成績向上を見据えた教育の充実」を掲げているが、市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 家庭学習について</p> <p>① 宿題と自主学習の両面で取組をしているが、実施目的と具体的な内容を伺う。</p> <p>② 実施目的や内容について保護者との共有が必要であるが、どのように取り組んだか伺う。</p> <p>③ 岩沼市全体として意思統一を図るために、市のホームページ（教育委員会）に目的、内容などをオンデマンド動画で発信してはどうか伺う。</p> <p>④ 児童・生徒の学力格差をなくすための対策が必要である。そこで、どのように取り組んでいくか伺う。</p> <p>2. 不登校対策について</p> <p>(1) 「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」（COCOLOプラン）に基づいた取組と成果を伺う。</p> <p>(2) 本年度はどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(3) 本市は、多様な学びの確保として、心のケアハウスやHATCH（ハッチ）いわぬまなどがあるが、教育委員会・学校との定期的な連携をどのようにしているか伺う。</p>	<p>市 長 教育長</p>

(同)	15	長田 忠 広	<p>(4) 県で行っている家庭等への訪問指導員派遣について、本市での対応を伺う。</p> <p>3. 休日部活動の地域移行について</p> <p>(1) 令和5年度より段階的に休日の部活動の地域移行を進め、令和5年10月から「陸上・卓球・バドミントン」で実施している。そこで、これまでの取組と成果を伺う。</p> <p>(2) 令和6年度はサッカー、バスケットボール、野球の3種目、令和7年度はソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、剣道の4種目で実施を予定している。また、文化部でも吹奏楽部、美術部、科学部を想定している。そこで、現在の進捗状況を伺う。</p> <p>4. 教育環境整備について、本市は校内トイレの洋式化を進めてきたが、今後はウォシュレットの整備を進めてはどうか伺う。</p>	市 長 教育長
2	2	西 塚 秀 市	<p><u>これからの介護予防の取組について</u></p> <p>1. 岩沼市として健康ポイントの導入を検討してはどうか伺う。</p> <p>2. 介護予防の取組について</p> <p>(1) 現在岩沼市の介護予防事業の取組について伺う。</p> <p>(2) 事業効果を伺う。</p> <p>(3) 事業を展開する上での課題を伺う。</p> <p>(4) 今後の介護予防の取組の中で、どのような事業に取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(5) 今後の取組により、どのような効果を期待しているのか伺う。</p>	市 長
			<p><u>市で管理する駐車場について</u></p> <p>1. 駐車場利用の運営及び管理について</p> <p>(1) 運営について</p> <p>① 業者との契約状況と警備員の配備について伺う。</p> <p>② 先月、市民会館東側駐車場で出庫に対するトラブルと、料金に関するトラブルがあったと聞いたが、事実であるのか伺う。</p> <p>③ 今月に陸上競技場で大会があり、その時に入口前の道路の左右に送迎の車両が停車し交通渋滞を起こしている状況があった。この状況についてどのように考えているのか、また、対策は考えているのか伺う。</p>	市 長 教育長

(同)	2	西塚秀市	<p>(2) 職員の駐車場利用の管理について</p> <p>① 今後岩沼市として、職員の駐車場はどのように取り扱うのか伺う。</p> <p>② 市民会館のようにゲートを設置するのか伺う。</p> <p>③ 岩沼市のほかの公共施設全ての駐車場を有料化する考えはあるのか伺う。</p>	市長 教育長
			<p>パークゴルフ場について</p> <p>1. 現在のパークゴルフ場としての用地について</p> <p>(1) 現在玉浦地区にパークゴルフ場の建設予定があったが、その後の状況を伺う。</p> <p>(2) 今後パークゴルフ場としての建設計画はあるのか伺う。</p> <p>(3) 複数の市町でもパークゴルフ場建設を行っているが、市としてはどのような考えなのか伺う。</p>	市長 教育長
3	10	渡辺ふさ子	<p>市民会館・市民会館駐車場有料化等について</p> <p>1. 市政報告にある東側駐車場の運営改善について</p> <p>(1) イベント開催時に大変混雑したことにより、短期的に出入口付近への人員配置の対策を講じたことについて</p> <p>① 5月25日、26日に対応した職員の人数を伺う。</p> <p>② イベント前後に対応した時間を伺う。</p> <p>③ 人数と時間による経費、人件費を伺う。</p> <p>④ 今後もイベント開催時に人員配置を行うのか。</p> <p>⑤ 運用は運営事業者が行うのではないのか。</p> <p>(2) 施設内への事前精算機の設置について、市民会館、ビッグアリーナ、また、総合南東北病院についても協議を重ねるのか。</p> <p>(3) 「出口の増設等の効果的な対策の実現を図ってまいります。」と述べているが、増設は運営事業者が行うのか。</p> <p>2. 岩沼市民会館駐車場の有料化と同時期に、総合南東北病院敷地内や薬局前の駐車場は職員専用になり、患者が車を駐車できなくなった。大変不便で、体調が悪いのに雨の日は特に困るなどの声が寄せられている。この措置は岩沼市からの要請によるものなのか伺う。</p>	市長 教育長

(同)	10	渡辺 ふさ子	<p>3. 市民会館や周辺体育施設の利用状況について</p> <p>(1) 市民会館・中央公民館の4月、5月の利用人数が前年同月比で2,031人減っている。駐車場の有料化が影響しているのではないか。</p> <p>(2) 中央公民館・総合体育館・陸上競技場・多目的グラウンドの定期利用団体の前年度、今年度登録数をそれぞれ伺う。</p> <p>4. 公共施設使用料の値上げの先送りが定例記者会見で表明されている。適切な判断と思う。公共施設の利用者が増え、市民が明るく楽しく元気に、健康的・文化的な活動をこれまでのように続けて行けるよう、市民会館駐車場の有料化も見直していくべきではないか。</p> <p>5. 今後について、千年希望の丘相野釜公園のように監視カメラの設置や不法駐車罰金の看板などで対応していけるのではないか。</p> <p>6. 市民会館大ホールの大規模修繕について、座席数を700席程度に改修するとされている。今の1,000席でも大きなイベントが呼べないのに、700席ではますます呼べなくなり、利用されないとの市民の声が寄せられた。まして駐車場は有料であるとの声もあるが、見解を伺う。</p>	市長 教育長
			<p>市民バスの利用促進について</p> <p>1. 市政報告で、「4月から路線や運行ダイヤを見直し、デザインも新たに運行を開始しており、一定の評価をいただいております。」と報告があった。一定の評価だけではなく、多くの苦情も寄せられているのではないか。</p> <p>(1) バス停の廃止も多い。廃止を決めた根拠や基準は何か伺う。</p> <p>(2) 廃止したバス停について、利用者の意見やアンケートを取るなど、寄り添った対応をしてきたのか伺う。</p> <p>(3) 日常通勤等に利用していた方からなどの苦情などがあれば、内容、件数を伺う。</p> <p>(4) 新たに増やしたバス停も多いが、増やした根拠や基準を伺う。</p> <p>(5) 増やしたバス停について、地域や利用者の要望などをどのように集約したのか伺う。</p> <p>(6) 空港線について、「矢野目の住民の方から日中の行きは便はあるが帰りの便がない。」「便数も</p>	市長

(同)	10	渡辺 ふさ子	<p>少なく朝と夕方だけで臨空循環バスも通らない。」「デマンド利用で費用もかかる。」との切実な声があった。玉浦線や南長谷線を見てもほぼ朝夕の運行になっている。日中の運行についてどう考えているのか伺う。</p> <p>(7) 4月から新たな運行が始まったばかりではあるが、次のダイヤ改正の時期はいつか伺う。</p> <p>(8) 運行ダイヤの見直しについて、次期見直しまでの間に変更することなども可能なのか伺う。</p> <p>(9) 高齢化により免許証を返納する方も増えてくる。AI乗合バスやデマンドタクシーについて、地域の説明会や相談会を町内会・老人会などに働きかけ、こまめに企画してはどうか伺う。</p>	市長
4	9	布田 恵美	<p>JR岩沼駅東口への交番設置について</p> <p>1. 岩沼警察署の新庁舎の完成に合わせて、かねてより要望の声も多くあったJR岩沼駅東口周辺に交番を新設する計画があると伺っている。岩沼の玄関口としての場所への設置が進んだことは、地域の安心安全のためにも喜ばしく思う。</p> <p>(1) (仮称)東口交番が設置されることに関して伺う。</p> <p>① 県から提示されている今後の設置計画の内容、時期について伺う。</p> <p>② 市民への周知をどのように行ってきたのか伺う。</p> <p>③ 東口への交番設置計画が進んでいることで、地域住民からどのような声があったのか伺う。</p> <p>2. (仮称)東口交番が設置されることにより、「千貫駐在所が廃止される」と聞いている。その点における地域住民へのこれまでの対応及び今後の対応について伺う。</p> <p>(1) 「千貫地域の皆様へ説明を行った。」と県の説明にあるが、千貫地区(西地区)在住者からは、「千貫駐在所廃止について知らない。」という声が多く聞かれる。県からは、「区長さんにチラシ配布を行って昨年中、個別に広報した。」と確認しているが、生活者の多くには伝わっていない。これまで駐在所があったことによる安心や安全の支えを確保するため、今後どのように対応していくのか次の点について伺う。</p> <p>① これまで駐在所機能として行ってきた見守</p>	市長 教育長

(同)	9	布田 恵美	<p>り体制について、従来と変わる点はないのか。</p> <p>② 地域の見守りボランティアへの説明などは行ってきたのか。</p> <p>(2) JR岩沼駅東口への交番設置及び千貫駐在所廃止について、千貫地区に住む多くの方へ正確に丁寧に説明する機会を早期に持つべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 廃止後の駐在所の建物を、どのように活用していくのか伺う。</p>	市長 教育長
			<p>熱中症対策について</p> <p>1. 熱中症対策が強化された改正気候変動適応法が今年4月に全面施行され、市町村は、公共施設など暑さをしのぐ場所を、クーリングシェルターとして指定することが可能となった。</p> <p>(1) 民間施設へのクーリングシェルター協力募集について伺う。</p> <p>① 呼びかけは、どのように行っているのか伺う。</p> <p>② 応募状況を伺う。</p> <p>③ クーリングシェルター設置時における救急通報体制なども考慮すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 令和5年9月定例会での一般質問に取り上げてきたクーリングシェルター設置の周知方法として、ホームページ、LINE以外のアナログでの情報伝達も提案してきたが、その後の検討状況について伺う。</p>	市長
5	6	佐藤 剛太	<p>岩沼市の教育について</p> <p>1. 岩沼市で教育を受ける小中学生が将来どのように成長してほしいと考えるか伺う。</p> <p>(1) 市長に伺う。</p> <p>(2) 教育長に伺う。</p> <p>2. 教育現場のICT活用について</p> <p>(1) ICT活用についての目的を伺う。</p> <p>(2) これまでのICT教育の効果について</p> <p>① 教員の働き方改革に対して伺う。</p> <p>② 児童・生徒に対して伺う。</p> <p>③ 今後の取組を伺う。</p> <p>3. 成績の向上を見据えた教育の充実について</p> <p>(1) 本市は今後のまちづくりの取組として「成績の</p>	市長 教育長

(同)	6	佐藤 剛太	<p>向上を見据えた教育の充実」としているが、見解を伺う。</p> <p>(2) 今後の取組を伺う。</p> <p>(3) 効果などはどのように検証するのか伺う。</p> <p>4. 増加する不登校児童生徒について</p> <p>(1) 増加する不登校児童生徒の要因や傾向について伺う。</p> <p>(2) これまでの不登校を減少させるための取組を伺う。</p> <p>(3) 今後の取組を伺う。</p> <p>(4) 特別支援学級の児童・生徒の不登校について伺う。</p> <p>5. 休日の部活動の地域移行について</p> <p>(1) これまでの取組と今後の取組を伺う。</p> <p>6. 様々な課題を抱える教育現場において、課題解消のために本市独自の少人数学級や教員の加配、支援員の拡大を行うべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>7. 地域との連携について</p> <p>(1) コロナ後、入学式などの学校行事に来賓で地域関係者が参加していないが、その理由を伺う。</p> <p>(2) 小・中学生の授業や行事に市内独自の様々な地域資源（仙台空港や工場など）を取り入れて、児童・生徒が岩沼市を知る機会を増やすべきではないか伺う。</p>	市長 教育長
			<p>定住促進支援策について</p> <p>1. 他自治体に移住・定住支援策として、様々な補助を行っているが、本市においても独自の補助制度を導入すべきではないか伺う。</p> <p>(1) 若者定住促進奨学金返済支援補助金の導入について伺う。</p> <p>(2) 子育て世代移住（I J U）定住促進補助金事業の導入について伺う。</p>	市長
			<p>千貫駐在所について</p> <p>1. 岩沼駅前東口交番の新設に伴い千貫駐在所が統合され、廃止されることについて</p> <p>(1) 昨年度、西部地区町内会長連絡協議会が市長に提出した千貫駐在所の存続の要望について、市の回答は、市では正式な統合・廃止の情報を聞いていないとの内容だったが、現時点での統合・廃止についての情報を把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 千貫駐在所が統合・廃止され、岩沼駅前東口交</p>	市長

(同)	6	佐藤 剛太	<p>番が新設されることで西部地区住民の安全や安心がこれまでより向上するのか、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 今後、西部地区町内会長連絡協議会に宮城県警より説明があると聞いているが、統合・廃止について地域住民からの反対意見が多数あった場合、市ではどのような対応を行うのか伺う。</p>	市長
6	4	高梨 明美	<p>市民の健康について</p> <p>1. 胃がん対策について</p> <p>(1) 胃がん検診の受診率向上のための取組を伺う。</p> <p>(2) 取組の成果と課題を伺う。</p> <p>(3) 令和2年3月定例会で受診率向上と検診充実のための施策として胃の内視鏡検査の導入について質問した。「現段階では導入は難しいが、引き続き研究をしていく。」という答弁だったが、現在の進捗状況を伺う。</p> <p>(4) 市区町村におけるがん検診の実施調査全国集計において、令和4年度は、全自治体数の53.5%、926の自治体で内視鏡検査を実施している。改めて内視鏡検査を導入してはどうか伺う。</p> <p>2. 帯状疱疹の予防について</p> <p>(1) 帯状疱疹に関する情報提供について伺う。</p> <p>(2) 帯状疱疹の予防（ワクチン）接種について、県内他自治体では独自の助成を行っているところが増えている。その現状についてどのように捉えているか伺う。</p> <p>(3) 帯状疱疹の予防（ワクチン）接種の費用助成をしてはどうか伺う。</p> <p>3. こころの相談窓口の情報提供について</p> <p>(1) こころの相談窓口を、市として市民に対しどのように周知しているか伺う。</p> <p>(2) パソコンやスマートフォンで手軽に自身のストレスをチェックできるシステム「こころの体温計」を導入し、相談窓口の周知に活用してはどうか伺う。</p> <p>4. 高齢者の難聴対策について</p> <p>(1) 高齢者の中には、加齢に伴う難聴の症状が見られる方が少なくない。難聴は認知症の危険因子の一つと言われており、早期からの対応が重要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 高齢者の難聴の早期発見には聴力検査が重要</p>	市長

(同)	4	高梨明美	<p>である。特定健康診査の項目に加えるべきではないかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 早期の補聴器の使用を促すことにより高齢者の生活を支援し、また、社会参加を促進するため、高齢者補聴器購入助成制度を導入すべきではないかと考えるが、見解を伺う。</p>	市長
7	1	岡田みつえ	<p>岩沼市の教育支援について</p> <p>1. 教育支援センターいわぬま子どもの心のケアハウス「あいる一む」について</p> <p>岩沼市では登校が難しい状況にある児童・生徒及びその保護者を支援し、児童・生徒の学校復帰を含む自立を目的として西部地区にある岩沼市勤労者活動センター内に「あいる一む」を設置している。</p> <p>そこで、「あいる一む」の現況について伺う。</p> <p>(1) 現在は、一部屋（研修室2）の中で児童・生徒の学習と職員の職務スペースが一緒になっていて手狭になっている。「あいる一む」のスペース拡大が必要と考えるが、常時研修室1又は視聴覚室が活用できるような対応としてはどうか伺う。</p> <p>(2) 現在「あいる一む」は西部地区の勤労者活動センター内に設置されており、東部地区からは遠く、通いづらい現状である。そこで、市内全域の子どもたちが、より通いやすくなるため中央部の空き家などを活用してはどうか伺う。</p> <p>(3) 現在「あいる一む」では図書館から団体貸出を利用して本を借り児童に貸しているが、「あいる一む」への定期的な移動図書館の訪問を検討してはどうか伺う。</p> <p>2. タブレット学習のメリット・デメリットについて</p> <p>岩沼市では「まなびiスクール構想」に基づき一人一台のタブレットを貸与している。令和3年にタブレットを導入して2年が経過した。そこで、これまでのタブレット学習のメリット・デメリットについて伺う。</p> <p>(1) タブレット学習を導入後、児童・生徒の学力はどれほど向上したのか伺う。</p> <p>(2) タブレットを導入した結果、子どもの筆圧低下が心配されるが、現況を伺う。</p> <p>(3) これまで児童・生徒間でのタブレットに起因するトラブルや機器の不具合はなかったのか伺う。</p> <p>(4) 保護者や子どもたちへのタブレット学習に関</p>	市長 教育長

<p>(同)</p>	<p>1</p>	<p>岡田 みつえ</p>	<p>するアンケート調査を行っていないということだが、今後アンケート調査を行い、使用者の声を吸い上げることが今後の進展につながるのではないかと思うが、見解を伺う。</p> <p>3. 小中学生の視力低下について</p> <p>文部科学省は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康状態を明らかにすることを目的として、学校保健統計調査を昭和 23 年度より毎年実施している。令和 4 年度学校保健統計の確定値の取りまとめでは視力 1.0 未満者の小学生は平成 24 年度 30.68%から令和 4 年には 37.88%への増加、中学生は平成 24 年 54.38%から令和 4 年に 61.23%と、近年小中学生の視力低下が進んでいる。そこで、岩沼市における児童・生徒の視力の状況について伺う。</p> <p>(1) 岩沼市での子どもの視力低下の状況を伺う。</p> <p>(2) 児童・生徒の視力低下への対策をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) タブレット使用による視力低下を防止するため、目を保護するブルーライトカットフィルム代の補助を検討してはどうか伺う。</p> <p>4. 第四次岩沼市子ども読書活動推進計画について</p> <p>令和 5 年 9 月の 1 か月間に読んだ本の平均冊数は、小学生が 13.1 冊、中学生が 4.0 冊である。平成 30 年度の調査と比較すると、小中学生ともに減少している。不読率は、小学生が 5.7%、中学生が 33.6%であった。平成 30 年度実績と比較すると、小学生は 1.9 ポイント、中学生は 23 ポイント高くなっており、読書活動が低調になっていることがうかがえる。対策が必要と思うが、見解を伺う。</p> <p>(1) 子どもの読書の現状について</p> <p>① 市内全ての小中学校で朝の読書について</p> <p>ア 現在の実施状況を伺う。行っているのであれば週何回の割合で行っているか伺う。</p> <p>イ 今後も引き続き、続けていく予定か伺う。</p> <p>② 読書には、知識や教養が身につく、語彙力が豊かになる、文章力が向上するなど様々な効果があると言われているが、岩沼市の児童・生徒の読書量が低調な現状をどのように捉えているか伺う。</p> <p>③ 今後、子どもたちの読書への興味関心を引き</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	---------------	---	-------------------

(同)	1	岡田 みつえ	<p>出すために、岩沼市としてどのような取組を行っていくのか伺う。</p> <p>(2) 中学生については高校入試面接の時事質問対策のためにも、学校図書館に新聞を置いてはどうか伺う。</p>	市長 教育長
8	3	大村 晃一	<p>行政のデジタル活用と情報発信について</p> <p>1. 岩沼AI乗合バスについて</p> <p>(1) 開始から3か月程度が経過したが、現在の利用状況を伺う。</p> <p>(2) 本市では公共交通の移動手段として、岩沼デマンドタクシーもあり、岩沼AI乗合バスの運行が始まってからは併用している利用者もいると聞くが、利用者の増減等の変化はあるのか伺う。</p> <p>(3) 他の公共交通機関との関連もあるが、乗降ポイントの増設やエリアを広げることも利用率を上げることにつながると考えるが、今後の方向性についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(4) 利用方法などをもっと市民に知ってもらい、利用者を増やす周知的な取組について</p> <p>① 市内の人が集まる機会やサークル活動、シニア世代の集まりの場などへ足を運んで説明する機会を増やすことも必要と考えるが、どの程度行っているのか伺う。</p> <p>② 市ホームページのトップページなど、わかりやすいところに登録方法の説明やリンクを作成して貼ってはどうか伺う。</p> <p>2. 市民や市役所職員を守る取組について</p> <p>(1) 市民からの情報提供システムについて</p> <p>① 令和3年12月定例会の一般質問で、LINEの活用方法として、行政側からの一方通行な情報発信だけではなく、市道や公園遊具の破損、自然災害後などの市有地の被害状況等を市民が情報提供できる通報システムを行ってはどうか提案していた。昨年の6月定例会の同僚議員の一般質問の中でも触れられており、その際の執行部の答弁では、一つのツールとして道路通報システムの導入を時期も含めて検討中とのことだった。1年が経過するが、現状を伺う。</p> <p>② 今年4月から本格運用が始まった宮城県のアプリ「インフラ異常箇所通報システム」を通</p>	市長 教育長

<p>(同)</p>	<p>3</p>	<p>大 村 晃 一</p>	<p>してと思われる、県を介しての岩沼市内に関する異常箇所への報告は、これまで何件か連絡があったのか伺う。</p> <p>③ デジタルを活用した市民からの地域の防犯、異常箇所や危険箇所等に関する多面的な情報提供の仕組みを構築する必要があると考えるが、本市の見解を伺う。</p> <p>(2) 市役所庁舎内の防犯カメラについて</p> <p>① 市役所庁舎内の防犯カメラの設置状況を伺う。</p> <p>② 最近では、カスタマーハラスメント、いわゆる「カスハラ」という言葉が、世間での話題のワードの一つになっているが、市役所の窓口対応が多い場所へ音声認識もできるタイプの防犯カメラもしくは、録画機能を備えた設備を設置することも市役所で働く職員の職場環境整備につながると考えるがどうか伺う。</p> <p>3. 岩沼市公式LINEアカウントの新しい活用について</p> <p>(1) チャットボット機能を取り入れて、利用者がもっと利用しやすい環境を整えてはどうか伺う。</p> <p>(2) 岩沼市公式LINEアカウントや市ホームページのトップページなどに、庁舎内のダイヤルイン（直通電話）番号のメニューバー等を設けて、携帯電話からの検索を簡素化し、そのまま電話がかけられる仕組みを構築してはどうか伺う。</p> <p>4. 小中学校のチラシ等の配布について</p> <p>(1) 外部からの依頼も含めた現在のチラシ等の配布方法を伺う。</p> <p>(2) 児童・生徒へ貸与しているタブレット端末へもチラシのデータを送って児童・生徒も直接見られるようにしてはどうか伺う。</p> <p>5. 「NFT (Non-Fungible Token)」(非代替性トークン)を用いた地方創生について</p> <p>(1) 近年は地方創生への取組として、NFTを活用する自治体も増えてきた。本市のNFTに対する認識を伺う。</p> <p>(2) 本市のPRや情報発信にも有効な手段と考えるがどうか伺う。</p> <p>(3) ここ数年、全国の自治体でも、ふるさと納税に</p>	<p>市 長 教 育 長</p>
------------	----------	----------------	---	----------------------

(同)	3	大村晃一	NFTを活用する事例も増えてきた。本市でもまだ扱っていない新たなふるさと納税の手法として有効と考えるがどうか伺う。	市長 教育長
9	5	植田美枝子	<p>子育て支援について</p> <p>1. 岩沼市の現状について</p> <p>(1) 妊娠期から子育て期まで行っている岩沼市保健センターでの育児相談について</p> <p>① 近年の相談件数と割合を伺う。</p> <p>② どのような相談が多いのか</p> <p>(2) 伴走型相談支援事業及び出産子育て応援給付金について</p> <p>① 近年の実績件数と割合を伺う。</p> <p>② 妊娠の届出時と出産時の経済支援の実績件数と割合を伺う。</p> <p>(3) いわぬま i キッズアプリについて</p> <p>① アプリの内容について伺う。</p> <p>② ユーザーからの評価をどのように捉えているか伺う。</p> <p>2. 生後3か月からの支援事業について</p> <p>(1) アウトリーチとして「おむつ定期便」を取り入れてはどうか伺う。</p> <p>(2) 毎月赤ちゃんと保護者に会って、赤ちゃん用品を無料で届けることで、気軽に相談しやすくなると思うが、見解を伺う。</p> <p>(3) 実際に実施している自治体では、生活協同組合と協定を締結し、「おむつ定期便」の配達員による見守り訪問を行っている事例がある。当市でも同様の取組を行ってはどうか。</p>	市長
			<p>定住移住者の増加について</p> <p>1. 不動産事業者との連携について</p> <p>(1) いわぬまの良さを伝え移住定住につなげるため、移住定住のパンフレットやチラシを不動産事業者と提携して配布してはどうか。</p> <p>(2) 不動産事業者のホームページにパンフレットやチラシを載せてもらってはどうか。</p>	市長
			<p>ネーミングライツについて</p> <p>1. 経費節減と共に歳入を増やす事業として、ネーミングライツを導入してはどうか。</p> <p>2. 当市では、市民会館、総合体育館、陸上競技場、図書館、千年希望の丘、いわぬまひつじ村、ハナトピア岩沼などの施設で可能だと思いがどうか。</p>	市長 教育長

10	13	飯塚悦男	<p>仙台医療圏の病院再編について</p> <p>1. 仙台医療圏の4病院再編における県立がんセンターと仙台赤十字病院の名取市での統合及び県立精神医療センターと東北労災病院の富谷市への移転合築について、市長の見解を伺う。</p> <p>2. 競合する総合南東北病院への病院再編の影響について、市長の見解を伺う。</p>	市長
11	11	佐藤一郎	<p>医療費適正化と予防医学について</p> <p>1. 地域医療情報システムのサイトによると、団塊の世代が75歳を迎える令和7年には、岩沼市の高齢化率が28.6%に達するとの推計があり、医療費と介護費のさらなる増加が見込まれる。国民健康保険事業、後期高齢者医療及び介護保険事業それぞれの特別会計への繰出に要する経費の状況について伺う。</p> <p>(1) 「岩沼市総合計画に基づく」実施計画（令和6年度～令和8年度）の令和6年度の国民健康保険事業会計の繰出に要する経費の事業費は271,982千円となっている。今後の推移について伺う。</p> <p>(2) 令和6年度の後期高齢者医療事務に要する経費は413,791千円、後期高齢者医療特別会計繰出に要する経費は112,265千円となっている。今後の推移について伺う。</p> <p>(3) 令和6年度介護保険事業特別会計繰出に要する経費は611,731千円となっている。今後の推移について伺う。</p> <p>(4) 少子高齢化に伴い国民健康保険、後期高齢者医療及び介護費が増加傾向にある中、財源を確保し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりが必要と考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>2. 医療費適正化について</p> <p>(1) 50代、60代、70代の年間医療費の額について伺う。</p> <p>(2) 岩沼市の傷病分類別医療費の上位について伺う。</p> <p>(3) 門真市では、医療費適正化に積極的に取り組み、被保険者の資格点検や同一被保険者の重複請求チェック、診療と調剤情報の突合などを行い医療費適正化に取り組んでいる。当市での取組に向けて検討してはどうか伺う。</p> <p>(4) 岩沼市における病院数、診療所数、歯科診療所数について伺う。</p>	市長

(同)	1 1	佐藤 一郎	<p>(5) 岩沼市における医師数と住民1万人当たりの医師数について伺う。</p> <p>(6) 国ではジェネリック医薬品の数量シェアの目標値を全ての都道府県で80%以上としたが、本市の状況は何%になっているのか伺う。</p> <p>(7) ジェネリック医薬品使用促進について、見解を伺う。</p> <p>3. 今までは病気になってから治療を始めるのが一般的だったが、今後は予防する意識を重視する予防医学が注目されている。本市における「予防医学」の取組について伺う。</p> <p>(1) 予防医学では、市民の健康習慣の認識を高めることが必要であると考えますが、市民への周知について伺う。</p> <p>(2) 一次予防とは健康増進、二次予防とは早期発見、早期治療、三次予防とは保健指導やリハビリテーションなどと言われている。これらの市民への周知について伺う。</p> <p>(3) 今後、予防医学が広く必要となると考えるが、本市における取組について伺う。</p> <p>(4) 医療費適正化、予防医学の取組について、市長の見解を伺う</p>	市長
1 2	8	大友 健	<p>市民会館の駐車場、有料化から3か月</p> <p>1. 有料化は愚策だし、既に破たんしているのでは…。</p> <p>(1) 「市民会館離れ」が起きていないか。</p> <p>① 大ホール、中ホール、会議室の利用は前年同月日でどうか。</p> <p>② 市公衆衛生組合連合会の6年度総会はどこで開かれたのか。</p> <p>③ 総会などの開催を撤回した団体は他にもないか。</p> <p>④ 仙南の小学高学年陸上「日清カップ」はどこで開催したか。</p> <p>(2) 駐車場から出る際の「出口渋滞」の実態について</p> <p>① 南小の運動会(5/18)は会場がなぜ市陸上競技場なのか。なぜ減免対象なのか。どれほどの渋滞だったのか。</p> <p>② 中体連のとき(5/25、26)はどうだったか。駐車場管理に何人職員を動員したのか。</p> <p>③ 雨の5/26は高齢者向けイベントが開かれた</p>	市長 教育長

(同)	8	大友 健	<p>が、混乱はなかったか。</p> <p>④ リバーサイド・ブラスの演奏会 (6/16) の時はどうだったか。</p> <p>⑤ ほかに渋滞の苦情があったケースはあるのか。</p> <p>⑥ 余分な仕事が増えるなど、有料化は破たんしているのではないか。</p> <p>(3) 近隣の公道での「駐停車の車列」について</p> <p>① それが両側にできたりするのは、極めて危険ではないか。</p> <p>② 駐停車禁止の新たな看板などはいつ作ったのか。</p> <p>(4) 「出口を増設」するとのことだが、どこにいくら増やすのか。新たな設備投資の費用も業者が負担するのか。</p> <p>(5) ガランと空いたままの北駐車場ほか、ビッグアリーナなどの駐車スペースから車が消えた光景は、公有地の効率利用に反していることを想起させる。それこそ「利用できる公有地を活用しない」無駄ではないか。</p> <p>2. 有料化が始まる前に確認できなかったことについて</p> <p>(1) 市民会館駐車場の土地は行政財産か、普通財産か。</p> <p>(2) 駐車場管理業者との契約は、市がかなり優位ではないか。特記事項 (特記仕様書) も含め、契約後にも「特記」の内容を変えられるのか。(1の(4)との関連)</p> <p>(3) 駐車場の賃借期間が始まる前に、有料化のための設備を設置するなどの工事が始まっていたが、これはよくあるケースなのか。</p> <p>(4) 有料化する際の市の考え方に、市民会館を利用する「特定の人 (市民)」という言い方もあったが、特定とはどういう意味だったのか。</p> <p>3. 市職員の駐車場 (市有地) の有料化について</p> <p>(1) 4月に実施できなかったのはなぜだったのか。</p> <p>(2) 土日は、市陸上競技場など利用の市民に開放するのか。</p> <p>4. 市民会館の駐車場有料化に続いて、体育施設など公共施設の使用料の値上げプランを先送りすると決めたのはなぜか。</p>	市長 教育長
-----	---	------	--	-----------